

# PROFILE

## 澁谷 浩 司

鈴鹿医療科学大学鍼灸学部鍼灸学科生理学



平成 17 年 4 月三重大学医学部生理学第二講座（現、神経感覚医学講座システム神経科学分野、山本哲朗教授）から当大学へ着任しました。生理学が本来担当ですが、現在諸事情により臨床神経学も講義し、鍼灸師を目指す学生を中心に医療科学教育に従事しています。

福井医科大学（現、福井大学）在学中、生理学第一講座の岡宏教授・山本哲朗助教授による動物機能の講義に強く感銘を受けました。未知なる脳機能が解剖学的・電気生理学的実験データからベールを脱いでいく様や情報伝達が電気現象によって行われている話を聞くと難しくも、魅了されていったのを未だに覚えております。また植物機能を担当されていた第二講座根来英雄教授が推薦された、クロード・ベルナル著、三浦岱栄翻訳「実験医学序説」(1970年) (岩波文庫) からは医学に於ける生理学の重要性を実感し、岩波新書や文庫クセジュなどから生理学関連の読み物をよく読んだりしました。当大学の生理学教育シラバスにもその名を挙げ学生達に推薦しています。大学 2 回生の時のこの思いが持続し、臨床系講義でも神経系の教科、神経内科学や脳外科学を好む様になり、卒後進路を決める際にはこの三つの学問分野で迷ったのをおぼえています。最終的には臨床（内科学第二講座、故藤木典生教授）へと進み内科系大学院に入学しましたが、実際の研究は岡研究室で行うことを快諾して頂きました。そのときの直接の研究指導教官が山本先生で、小脳-視床-大脳皮質投射の研究を開始し、in vivo 標本による細胞内染色法と細胞内記録法を学びました。途中、山本先生は三重大学の教授に転任され、私は暫く

して大学院を中退、生理学講座の助手となり、前障の解剖学的・電気生理学的研究で学位を取りました。平成 10 年に三重大学医学部第二生理学講座に転任した後すぐにテネシー州立大学神経生物学教室喜多均教授のもとへ 1 年間留学する機会を得、大脳基底核へと研究領域を広げる貴重な経験をさせて頂きました。帰国後も in vivo 標本による細胞内染色法と細胞内記録法を用いて前障、大脳皮質運動野及び線条体の研究を行っております。当大学に於いても研究設備を充実して頂き、研究が継続出来るのは幸せだと思っています。

医学部生理学講座での助手採用以来、医学科学生の生理学教育及び脳生理の研究に従事してきましたが、自分の臨床体験よりコメディカルスタッフに取っての医学教育の重要性を常々考えておりました。医療現場に於いては医師とコメディカルスタッフが協調性をもって、各々の専門業務に能力を発揮してこそ心身の障害に悩む人々により良い医療を提供できるものと考えます。それには人間性はもちろん、医療に於ける共通言語、即ち医学専門用語の理解と医学知識に医師とコメディカルスタッフとの間でギャップを出来るだけ少なくする必要があります。生理学は医学の基礎、言い換えるなら家屋の土台となる学問と考えますので、当大学でコメディカルスタッフの生理学教育に携わり、医療向上に幾分なりとも寄与できることは光栄であります。また電気生理学的手法による脳生理研究も引き続き励み、東洋医学師の西洋医学分野への進出に幾分とも貢献できますよう努力する所存ですので、ご指導ご鞭撻を頂けると幸いに存じます。

## 略歴

- 平成 2 年 福井医科大学医学部卒業及び医師免許  
証取得
- 平成 5 年 日本内科学会認定内科医資格取得
- 平成 6 年 日本神経学会認定医資格取得  
福井医科大学医学部生理学第一講座

## 助手

- 平成 9 年 福井医科大学学位取得（医学博士）
- 平成10年 三重大学医学部生理学第二講座助手
- 平成10年～11年  
テネシー州立大学留学
- 平成17年 鈴鹿医療科学大学鍼灸学部教授